

プロジェクト名

蘇れ！ 岡本太郎の「ダンス」

(2011年3月 高島屋大阪店)

◆プロジェクト概要

高島屋史料館が所在する高島屋東別館【大阪市浪速区日本橋】1階に、木製パネルで覆われ、壁面に固定される形でひっそりと保存されていたモザイクタイル画がありました。この作品こそ、戦後高島屋大阪店の大食堂に飾られていた(1952年～1969年と推定)、岡本太郎のタイル画「ダンス」でした。当時岡本太郎は、芸術の工業化の観点から、『芸術はひろく一般の身近にふれるものこそ価値がある。絵画も古い枠を打ち破って、真剣に大衆との結びつきを考えていかなければならない』として、新しい芸術表現の手法としてタイル画に取り組み始めていました。高島屋の社史や美術部史などの記述から、作品は1952年に制作されたものと考えられ、同時期に東京日本橋高島屋の地下通路壁面に設置されたタイル画「創生」と対を成す作品であり、当時の岡本太郎と高島屋の親交が窺われます。

来年2011年は岡本太郎生誕百年の記念すべき年。同年、高島屋は創業180周年を迎えます。また、高島屋大阪店【大阪市中央区難波】においても、1930年に大阪・なんばで開店して80年を迎え、現在、大規模な増床・改装計画が進行しており、来年3月にはすべてのフロアが新しく生まれ変わって全館グランドオープンする予定です。このたび高島屋は、この記念すべき運命的な巡り合わせの年に、岡本太郎の生誕百年を記念し実施される「TARO100祭」プロジェクトに参加し、タイル画「ダンス」の修復および高島屋大阪店への蘇生プロジェクトを実行してまいります。作品の修復については、当時制作に携わった(株)INAX(当時社名:伊奈製陶)の協力により、愛知県常滑市にあるINAXライブミュージアムものづくり工房にて作業を行い、その後、2011年3月のグランドオープンにあわせて、高島屋大阪店の新レストラン街「なんばダイニングメゾン」7階エントランスロビーに改めて設置・公開いたします。岡本太郎の作品に敬意を表し、作品に込められた思いを未来へ繋ぐべく、半世紀の時を越えて高島屋大阪店にタイル画「ダンス」が蘇ります。



作品名 タイル画「ダンス」(1952年)

タイル画サイズ たて2,352mm よこ3,488mm
タイルピースサイズ 10mm×10mm
タイル色数・使用数 38色 約57,400ピース

INAXライブミュージアムものづくり工房では、タイルや目地の単純なクリーニングではなく、「ダンス」を蘇らせる(生き返らせる、「蘇生」という考えで、作業に取り組んでいます。岡本太郎がタイルの上にペイントで描いた痕跡はそのままに、表情を崩すことなく、完成当時の想いを蘇らせるため、最善の方法を検討しています。

ご取材に関するお問い合わせは

(株)高島屋 広報・IR室(関西) 安川

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25

TEL 06-6631-5499

FAX 06-6631-9852

(株)INAX 経営企画部 広報室 伊藤

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-3-2

TEL 03-4332-5161

FAX 03-4335-7519